

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年2月分)

1. 調査実施期間 平成24年 1月20日 ～2月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

2月分の回答企業数は38社、回収率は90.5%である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/2月	24/3月	24/4月
仕入動向	国産材	-17.2	-5.2	6.9
	外材	-17.6	-5.9	0.0
販売動向	国産材	-25.9	-5.2	8.6
	外材	-20.8	-4.2	11.1
在庫動向	国産材	-10.3	0.0	0.0
	外材	-12.9	0.0	-4.3

仕入れは、先行き不透明感もあり、国産材、外材とも大きなマイナスだが、4月に向け好転。  
販売は、国産材、外材とも大きなマイナスだが、4月に向け好転し、プラスに。  
在庫は、国産材、外材とも先行き不透明、一部先安感もあるためマイナスだが4月に向け多少好転。

## (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/2月	24/3月	24/4月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-2.3	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-2.5	-2.5	0.0
米マツ平角	-2.6	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-11.9	-2.4	-2.5
ホワイトウッド集成管柱	-33.3	-7.1	-7.1
レッドウッド集成平角	-26.5	-5.9	-2.9
型枠合板(輸入)	-21.1	-7.9	-2.6
針葉樹構造用合板	-23.7	-13.2	-5.3
針葉樹構造用合板(厚物)	-14.7	-5.9	-8.8

スギ正角(グリーン、KD)及びヒノキ土台、ヒノキ正角は横ばい。  
米ツガ正角(現地挽)、割物はやや弱含みだが、4月に向け保合いに、土台は横ばい。  
米マツ平角は、やや弱含みだが、4月に向けて保ち合いに。  
北洋アカマツタルキは、弱含みないしやや弱含みで推移。  
WW集成管柱、RW集成平角ともユーロ安・円高、輸入増により大きなマイナスだが、4月に向けマイナス幅縮小。  
合板は輸入、構造用、厚物とも弱含みも、4月に向けマイナス幅縮小。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太は、米材1月積み輸出価格は前月据え置き。カナダ材FASはオールドは強含み、セコグロは保合い。スプルス等白物丸太の現地出材が全く進まず、日本国内、中国とも不足感はピーク。今後の仕入れに大きな不安を抱えている。(東京：米材問屋) 3月末まで入荷なく、市場に全く浮玉なし。(東京：米材問屋)</p> <p>2~3月は需要が一番厳しい季節のため、仕入れは控える。(東京：集成材等問屋)</p> <p>当地区はプレカット稼働率も含め他地域よりも荷動き悪く、価格も全体に弱い。(東海：外材問屋)</p> <p>今月は久しぶりに入荷増。(東京：南洋材問屋) 旧正月のため生産量が低下。中国、インド向けが一段落した感があり、産地価格は保合い。(東京：南洋・中国材問屋) ラワン原木は相変わらず少なく平割りの仕入れ難しい。集成材は原料があり、価格もこなれてきている。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>降雪などで原木少ないため製品量も少ない。価格は供給減のためしっかりしている。(東京：国産材問屋)</p> <p>先の仕事が見えてきたのに合わせ仕入れを少し増加。(東京：仲買・小売)</p> <p>1月の荷動きは低調ながら横ばい安定。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太は京浜マーケットではカスケード材の引き合いは相変わらず好調なもの、コースト材は引き合いが回復していない。メーカーでは東北方面からの見積依頼が好調なもの、地場からの引き合いは乏しい。(東京：米材問屋) 引き合い多いものの、カナダ材色物の在庫少なく、売る物がない。(東京：米材問屋)</p> <p>WWの値下がりりで在庫を持たない客が多いが、下げも止まりそう。(東海：外材問屋)</p> <p>2~3月は売上減を覚悟、大雪の影響も有りそう。(東京：集成材等問屋)</p> <p>急ぎの加工や見積もりが多いが、価格競争が厳しく採算は悪い。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>1月下旬は仕事が減っている。物件の見積もり入りが成約に至らず。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>受注残を消化した後(?)、引き合い減っている。(東京：南洋問屋)</p> <p>構造材は外材に押されて動きが悪い。羽柄材も同様に良くない。(東京：国産材問屋)</p> <p>造作材加工の注文は好調、スギ小割の動きも良い。(東京：国産材問屋)</p> <p>1月以降荷動き悪いが3月からは回復傾向と見る。(東京：国産材問屋)</p> <p>内地材構造材(ムク)のシェアが段々下がってきている感がある。製材所も細物は何をひけば良いか迷いが生じてきている。(東京：国産材問屋)</p> <p>2月は悪いが3月から忙しくなりそう。(東京：仲買・小売)</p> <p>見積済みの物件が動き出すのを待っている。大型のリフォーム物件があり少し好調。(東京：仲買・小売)</p> <p>2月中旬よりようやく動き出す気配、やっと暗いトンネルを抜け出す気配。(東海：仲買・小売)</p> <p>2月は新築物件全く無くひま。(大阪：仲買・小売) 政局同様、景気の方も不透明、エコ住宅の効果なし。(大阪：仲買・小売) 1月後半より失速気味、2月に入っても変わらず先行き不透明。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>京浜港への米マツ一般材丸太の入荷は2月の本船入港を予定しており、問屋の手持ち在庫は旧材も含めて減少している。スプルス丸太は入荷即完売状態で完全に不足している。(東京：米材問屋)</p> <p>在庫は全くない。(東京：米材問屋)</p> <p>在庫は増やさず。(東京：集成材等問屋)</p> <p>入荷と出荷のバランス取れており在庫に変動はない。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>来月からは適度に入荷予定で、適正在庫に戻ると思う。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>商品により在庫量はまちまち、足りない物と不良在庫化している物とが混在。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>国産材は減りつつあるが良材は積極的に買う。(東京：国産材問屋)</p> <p>在庫は、国産材・外材とも少なめにしている。(東京：仲買・小売)</p> <p>政府の景気対策の拡充がないと、この業界は底上げしない。(東海：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	安値安定だがそれぞれ明るさを感じる。(東京：仲買・小売)
ヒノキ正角 土台角	変化なし。(東海：外材問屋)
米ツガ	円高により輸入コストが下がり正角、防腐土台は値下がり、割物は原板が少なく横ばい。(東海：外材問屋)
米マツ平角	横ばいだがRW-EWの価格下げ見直しがあるかもしれない。(東海：外材問屋)
北洋アカマツタルキ	横ばい。(東海：仲買・小売)
WW・RW 集成材	<p>管柱1,550円/本、平角49,000円/m<sup>3</sup>。(東海：外材問屋)</p> <p>欧州材は弱く、需要が戻らないと下げか。(東京：集成材等問屋)</p> <p>動きはあるが単価的に弱い。(東京：国産材問屋)</p> <p>WW割物大幅値下がり、40,000円/m<sup>3</sup>割れ。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>わずかだが値下がり傾向。(東海：外材問屋)</p> <p>動きが悪いのか弱含み。(東京：仲買・小売) 商社・問屋が上手く売りさばいており単価の乱れなく平穏に推移。(東京：仲買・小売)</p> <p>特に変化なし。(大阪：仲買・小売)</p>